

2021年3月期業績予想説明会(Web) 主なQ&A

Q 山陽新幹線・北陸新幹線の運輸収入の通期見通しは。

A 21.3期の通期見通しは、山陽新幹線について対前年▲2,447億円減の1,570億円、北陸新幹線については対前年▲265億円減の130億円としており、コロナ影響以外に昨年のGW10連休や台風19号など特殊要因の反動増減を加味している。

Q 年間配当を1株当たり100円とした根拠と、今期の業績が見通しに対して上振れ・下振れした時の配当の考え方は。

A 通期で会社発足以来最大の当期純損失を見込むものの、長期安定的な株主還元を重視するという方針もふまえ、次年度以降の業績改善への強い意思も込め1株当たり100円の年間配当を提示させていただいた。一方、債務が大きく増加しバランスシートも傷むこととなるため、仮に業績が予想より上振れてもこれ以上の配当額をお示しすることはできない。逆に業績が下振れた場合はさらに厳しい財務状況にはなるが、別途積立金を取り崩すことも念頭に基本的には1株100円の年間配当を維持したいと考えている。

Q 来期以降の配当の考え方は。

A 現下の状況を鑑み、中計見直しを進めているところである。来期以降の還元の考え方については中計見直しの公表まで今しばらくお待ちいただきたい。ただし、株主還元については重要な経営方針であり、長期安定的に配当したいという思いは持っている。

Q 現状実施している費用節減は、メニュー先送り等の一時的なものか、それとも継続的なものか。

A 今期の費用節減については緊急事態宣言に伴う減便や一時帰休といった一部特殊な要素も含んでおり、それらに関しては来期以降反動増の要素になり得る。安全維持を前提に節減可能なメニューについては引き続き取り組むとともに、中長期的なコスト構造改革も併せて進めていく所存。